

令和 7 年度における県の取組状況


1 環境政策課

事業名	ごみゼロあおもり普及啓発事業
第 4 次食育推進計画の位置付け	基本方向 3-3
趣 旨	3 R 推進に向けて、県民一人ひとりの意識醸成のため、食品ロス削減を含めた県民運動をより一層推進する。
主な取組	1. 食品ロス削減に取り組む店舗を食べきり推進オフィス・ショップとして認定した。 (令和 7 年 8 月現在：279 店舗。R 7 認定件数：0 件) 2. 県の広報媒体（新聞、ラジオ、毎戸配布紙）を活用し、食品ロス削減のための広報を実施した。
今後の取組方向	引き続き食品ロス削減を推進するため、普及啓発を継続する。

事業名	第 5 次青森県循環型社会形成推進計画改定
第 4 次食育推進計画の位置付け	基本方向 3-3
趣 旨	第 5 次青森県循環型社会形成推進計画の一部として、青森県食品ロス削減推進計画を改定する。（計画期間：令和 8 年度～令和 12 年度）
主な取組	1. 青森県循環型社会形成推進委員会における審議（令和 7 年 10 月及び 11 月） 2. 計画原案に係るパブリックコメントの実施（令和 7 年 12 月～令和 8 年 1 月） 3. 環境審議会において計画原案の説明（令和 7 年 12 月） 4. 環境審議会において計画案の諮問及び答申（令和 8 年 2 月予定） 5. 公表（令和 8 年 3 月予定）
今後の取組方向	市町村や県民、事業者等に対し、県広報をはじめ様々な機会を通じて計画内容の周知を図り、各主体の取組を促進する。

2 がん・生活習慣病対策課

事業名	栄養改善対策事業「かんたん野菜レシピ普及事業」
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-2、1-3、配慮すべき事項2
趣 旨	青森県の成人一人1日野菜摂取量は目標量の350gから70g不足しており、特に若い年代や男性の一人暮らしの摂取量が低いため、簡単に作ることができる野菜レシピの普及により摂取量の増加を図る。
主 な 取 組	<p>1 かんたん野菜レシピの活用による野菜摂取量の増加</p> <p>青森県食生活改善推進員連絡協議会が県内各地域で実施する料理教室、食生活改善指導等において「かんたん野菜レシピ」の配布および試食提供を実施。</p> <p>※開催時期：7月～1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこの食育教室：12地区 ・ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐ健康プロジェクト（うち、若者世代：6地区、働き世代6地区） ・その他食生活改善指導等 <p>健診や健康イベント時に試食提供、レシピ配付を実施。</p> <div data-bbox="440 1261 783 1491"> </div> <div data-bbox="826 1261 1139 1485"> </div>
今後の取組方向	若い年代や男性等を主な対象として、引き続き、かんたん野菜レシピを活用し、野菜摂取量の増加を図る。

事業名	減塩対策推進事業「乳幼児健診でのだし活減塩活動」
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1
趣 旨	離乳食の時から薄味に慣れてもらうために、減塩に対する普及啓発とニーズを把握し、減塩対策の推進を図る。
主 な 取 組	<p>1 だしの試飲 健診に参加した保護者及びその子どもに、試供品の試飲を行う。</p> <p>2 試供品の提供とちらしの配布 試供品と試供品のレシピの付いたチラシを配布し、家での試作を促し、家族へ提供してもらい、家族の減塩体験につなげる。</p> <p>3 減塩に対するニーズ把握 健診に参加した保護者に対し、だしの活用状況や減塩の工夫などアンケートを行う。</p> <p>※4月～3月までに1歳6か月児健診を受診する親子を対象に実施する (約6,000人)</p> 
今後の取組方向	子どもの頃からの薄味の定着に向け、引き続き、だしの試飲や減塩の普及啓発を行い、食塩摂取量の減少を図る。

事業名	県民の未来の健康基盤づくり事業「健康教育授業」
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1
趣 旨	<p>基本的な生活習慣が定着する学齢期の児童生徒を対象に、保健所の保健師や管理栄養士等による体験型授業を行うことにより、望ましい生活習慣について学習してもらう。また、授業の概要を保健だより等に掲載することにより、児童生徒の生活習慣形成への影響が大きい保護者も含めた生活習慣の見直しを図る。</p>
主 な 取 組	<p>1 健康教育授業の内容</p> <p>学校が選択したA～Cのいずれかの基本プランについて、詳細を保健所と打合せした上で、保健所が授業を実施。</p> <p>A. 食育SATシステムの体験を通じた食事バランスについての学習 B. 甘い飲み物に含まれる砂糖の実験による食の選択についての学習 C. 血圧測定を取り入れた高血圧についての学習</p> <p>※実施校：15校（市町村別内訳は以下の通り）</p> <p>青森市2、八戸市1、三戸町1、弘前市2、板柳町1、藤崎町1、平川市2、五所川原市1、中泊町1、つがる市1、東北町1、むつ市1</p>
今後の取組方向	引き続き、児童生徒に対し、基本的な生活習慣が定着に資する取組を行う。

3 食ブランド・流通推進課

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業																
第4次食育推進計画の位置付け	取組1	全て															
	取組2	基本方向1-1、1-2、1-5															
	取組3	基本方向2-1															
	取組4	基本方向2-1															
趣旨	<p>全県的な食育推進体制の充実のため、「青森県食育推進会議」を設置して本県の食育推進対策についての意見・提言を徴するとともに、食育関係者・団体等による地域の実情に即した食育の推進のため、人材育成活動支援を行う。</p>																
主な取組	<p>取組1 青森県食育推進会議の運営</p> <p>生産、流通から消費、医療、保健、福祉、教育、行政など関係各分野の委員で構成し、食育推進施策について意見・提言を徴する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日程</td> <td>令和7年12月12日</td> <td>令和8年2月18日</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>書面開催</td> <td>ホテル青森「錦鶏」</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>—</td> <td>委員、県関係課</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 第5次青森県食育推進計画(案)の概要及び骨子(案)について </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 第5次青森県食育推進計画について 令和8年度の食育に係る県の取組計画について </td> </tr> </tbody> </table>			第1回	第2回	日程	令和7年12月12日	令和8年2月18日	場所	書面開催	ホテル青森「錦鶏」	参加者	—	委員、県関係課	内容	<ul style="list-style-type: none"> 第5次青森県食育推進計画(案)の概要及び骨子(案)について 	<ul style="list-style-type: none"> 第5次青森県食育推進計画について 令和8年度の食育に係る県の取組計画について
		第1回	第2回														
日程	令和7年12月12日	令和8年2月18日															
場所	書面開催	ホテル青森「錦鶏」															
参加者	—	委員、県関係課															
内容	<ul style="list-style-type: none"> 第5次青森県食育推進計画(案)の概要及び骨子(案)について 	<ul style="list-style-type: none"> 第5次青森県食育推進計画について 令和8年度の食育に係る県の取組計画について 															
	<p>取組2 あおもり食育サポーターの活動支援</p> <p>地域の保育所・学校などにおいて、食に関する講話、郷土料理などの調理実習や農林漁業体験の指導などを実施するボランティアを「あおもり食育サポーター」として登録。</p> <p>保育所・幼稚園、学校、地域等からの要請に応じて食育サポーターを派遣し、食育活動を実施。(事務局：サンブラッソ・エイティープイ(株)に委託)</p> <p><参考>あおもり食育サポーター登録状況(R8.1現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>東青</th> <th>中南</th> <th>三八</th> <th>西北</th> <th>上北</th> <th>下北</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41</td> <td>26</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table>		東青	中南	三八	西北	上北	下北	合計	41	26	16	10	15	6	114	
東青	中南	三八	西北	上北	下北	合計											
41	26	16	10	15	6	114											

	<p>取組3 青森県食育指導者研修会の開催</p> <p>あおもり食育サポーター等の食育指導者の資質向上を目的とした研修会を開催予定。（野菜＋果物研修会と併催）</p> <p>【開催時期】 令和8年2月25日（水）</p> <p>【場 所】 リンクモア平安閣市民ホール</p> <p>【内 容(予定)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講演「地域の心と身体を育てる『食』の力～日常の“食”から考える健康づくりと防災・減災～」 （株）フードコミュニケーション なぎさなおこ氏 2 講演「野菜・果物食べてますか？～野菜・果物の魅力について考えてみましょう～」 あおもり野菜ソムリエの会 中村陵子氏 <p>取組4 あおもり食育検定運營業務の支援</p> <p>青森県の豊かな農林水産物や食文化など、「あおもりの食」の素晴らしさを県内外や次世代に伝え、普及啓発の機運を高めるため、「あおもりの食」を中心とした「食」にかかわる知識を問う検定を年1回実施。（あおもり食育検定委員会（事務局：青森中央短期大学）主催）</p> <p>【試験日】 令和7年11月9日</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>引き続き食育指導者の育成とその活動を支援し、全県的な食育推進体制の充実を図る。</p>

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業 地域食育ネットワーク協議会の運営
第4次食育推進計画の位置付け	取組1(東青) 基本方向1-5
	取組2(中南) 基本方向1-5
	取組3(三八) 基本方向1-5
	取組4(西北) 基本方向1-5
	取組5(上北) 基本方向1-4、1-5、3-1
	取組6(下北) 基本方向1-5、2-1
趣旨	農林水産事務所単位に協議会を設置し、地域の食育推進に係る情報交換及び研修等を実施。
主な取組	<p>取組1 東青地域食育推進ネットワーク協議会の開催</p> <p>1 開催日：令和8年2月5日(木) 予定</p> <p>2 場所：青森県火災共済会館3階ミーティングルーム大</p> <p>3 内容</p> <p>(1) 講演「共食のメリットと課題等について(仮)」 講師：社会福祉法人 青森県社会福祉協議会 葛西裕美氏</p> <p>(2) 情報提供 県の食育関連事業の取組、第5次食育推進計画について 情報提供者：食ブランド・流通推進課職員</p> <p>(3) 情報交換 ネットワーク協議会組織の食育の取組について</p>
	<p>取組2 令和7年度中南地域食育ネットワーク協議会研修会</p> <p>時期：令和8年2月27日(予定)</p> <p>場所：青森県武道館</p> <p>対象者：中南地域食育ネットワーク協議会員</p> <p>内容：食育の講話、食育活動実践プロジェクト活動事例発表、意見交換等</p>
	<p>取組3 令和7年度三八地域食育ネットワーク協議会の開催</p> <p>期日：令和7年11月18日</p> <p>場所：八戸市中央卸売市場(八戸市) 八戸総合卸センター HOCコネクト(八戸市)</p> <p>内容：①現地見学・取組紹介 「市場が取り組む食育活動について ～産地と食卓をつなぐ市場の役割と流通の仕組み～」 取組紹介者：八戸市中央卸売市場 市場長 根岸雄一氏</p> <p>②情報交換「各委員の食育に関する取組について」</p>



取組 4 西北地域食育ネットワーク協議会情報交換会

期 日：令和 8 年 1 月 2 8 日(水)

場 所：五所川原合同庁舎 C 会議室

内 容：

- (1) 今年度の食育活動実践プロジェクト業務委託について
説明者：西北農林水産事務所
内 容：tugalu.waku と新深浦町漁協女性部の取組内容について
- (2) 管内の取組事例紹介
説明者：みんな・I～NA～ 傳法谷 公二氏
内 容：地域に根差した居場所づくり活動
- (3) 青森県における食育推進の取組について
説明者：食ブランド・流通推進課
内 容：次期食育推進計画の方向性、今年度新規の取組
- (4) 情報交換
内 容：市町等における食育推進計画の取組状況、食育の取組状況等

取組 5 上北地域食育ネットワーク協議会研修会

1 開催時期：令和 7 年 11 月 18 日

2 開催場所：農園カフェ日々木（十和田市）

3 参加人数：15 名

4 内 容：

- (1) 農家レストランにおける「食」「農」「福」の取組
説明者：一般社団法人日々木の森 代表 立崎文江 氏
- (2) 食改さんの活動を支える事務局としての取組
～支える・つなぐ・広げる～
紹介者：六戸町福祉課 栄養士 岩木亜由美 氏
- (3) 情報交換
各委員や農林水産事務所の取組紹介、質疑応答など



取組 6 下北地域食育ネットワーク協議会

管内市町村では、市町村食育推進計画等に基づき地域の特色を生かした食育を推進しているが、下北地域における総合的な推進も図る必要があることから、関係機関・団体をメンバーとする地域食育ネットワーク協議会を開催する。（令和8年3月に開催予定）

今後の取組方向

地域食育ネットワーク協議会の活動を通じて、地域や各団体内の農林、保健、教育等の部署間の連携が更に図られるよう、食育県民運動の円滑かつ効果的な推進を図る。

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業 地域の団体等による食育活動（食育活動実践プロジェクト事業）の実施		
第4次食育推進 計画の位置付け	取組1（東青） 基本方向1-5		
	取組2（中南） 基本方向1-1、1-5		
	取組3（三八） 基本方向1-2		
	取組4（西北） 基本方向1-1、1-2、1-5、2-3、3-1、 3-2		
	取組5（上北） 基本方向1-2、1-5、2-3、3-1、3-2		
	取組6（下北） 基本方向1-5、3-1		
	取組7（食ブラ課） 基本方向1-1、1-2、1-5、2-3、3-1		
趣 旨	地域における自発的かつ継続的な食育活動を促進するため、地域の 実情に応じた食育活動を地域団体に委託し、実施。		
主 な 取 組	公募により選定した民間団体等への委託事業として実施。		
	委託元	実施団体	内 容
	東青農林 水産事務所	青森市食生活改善 推進員会 (青森市)	・園児を対象とした食育レッスンと「お にぎらず」のクッキング
	中南農林 水産事務所	Aプロジェクト (弘前市)	・スポーツと「食」をテーマにした体験 講座や料理教室
		kuni's kitchen (弘前市)	・便利な調理器具等の活用による料理 講習会と自然栽培野菜の収穫体験
	三八農林 水産事務所	認定こども園すぎ のこ保育園 (八戸市)	・災害に「備える食」を学ぶ実践型食育 講座
	西北農林 水産事務所	Tugalu.waku (つがる市)	・野菜や果物の収穫体験と調理体験等
		新深浦町漁業協同 組合北金ヶ沢漁協 女性部 (深浦町)	・お魚料理教室
	上北農林 水産事務所	佐藤トミ (十和田市)	・高齢者対象の食育講話と調理実習
		山端一雄 (十和田市)	・保育園等を対象とした食農体験
		エコレンジャーセ ブン (七戸町)	・引き継ぎたい郷土料理のアンケート 調査及び調理実習 ・レンピカードの作成
	下北農林 水産事務所	合同会社むっつ のたね (むつ市)	・農家による野菜栽培指導や料理教室 等
	食ブランド・ 流通推進課	一般社団法人あお もりウォーズ (青森市)	・漁業や水産物に関する講話、魚食体験 講座
安田美央 (三沢市)		・発達に課題のある子供や大人と地域 住民とのカレー作りを通じた交流会	
合 計			12プロジェクト

取組 1 東青農林水産事務所

【実施団体】青森市食生活改善推進委員会

食べ物に興味を持ち、食事を楽しめるよう、市内の保育園等を訪問し、食べ物の働きを知るためのゲームを活用した食育レッスンとおにぎらずのクッキングを実施する。

	実施園	実施日	参加者
1	認定こども園ひのき	10月10日(金)	園児16名
2	大野保育園	10月11日(土)	園児とその保護者16名
3	認定こども園 浪岡すみれ保育園	10月16日(木)	園児19名
4	幼保連携型認定こども園 源内幼稚園	10月23日(木)	園児39名
5	幼保連携型認定こども園 つぼみ保育園	11月11日(火)	園児とその保護者47名
6	認定こども園あらかわ	12月3日(水)	園児9名
7	認定こども園SHINJO	12月5日(金)	園児25名
8	小柳保育園	12月16日(火)	園児13名

取組 2 中南農林水産事務所

1 Aプロジェクト

【目的】「食」に対する正しい知識の普及を行い、県産食材を意識したバランスの良い食事づくりが日常の食生活に活かされるようになること。

【内容】

(1) 収穫体験

ア 開催日：令和7年7月26日

イ 場所：工藤農園ブルーベリー園（弘前市）

ウ 参加者：スポーツを楽しんでいる子供とその保護者

エ 内容：講話、収穫体験

(2) 体験講座1

ア 開催日：令和7年9月13日

イ 場所：城東閣フレキシブルルーム（弘前市）

ウ 参加者：会場来場者

エ 内容：食事診断による日頃の食事の見直し

(3) 体験講座2

ア 開催日：令和7年10月5日

イ 場所：弘前市運動公園（弘前市）

ウ 参加者：スポーツ観戦に来た方
エ 内 容：「みそ玉作り」と「スポーツ後の栄養補給に効果的な県産果物の提供」をテーマとしたワークショップ

(4) 講座1

ア 開催日：令和7年12月14日
イ 場 所：サンタハウス弘前公園（弘前市）
ウ 参加者：パワーリハビリテーションなどを含むスポーツに親しんでいるシニア
エ 内 容：シニア世代のスポーツ栄養学

(5) 料理教室

ア 開催日：令和8年1月17日
イ 場 所：柴田学園大学調理室（弘前市）
ウ 参加者：スポーツを行っている・楽しんでいる小学生親子
エ 内 容：講義、調理法の工夫、調理実習・試食

2 kuni's kitchen 鈴木 邦子

【目的】料理ができない人でも簡単においしく作れるコツを伝授することで、料理に対するハードルを下げ、料理を作る習慣や食に対する興味関心を高める。

化学肥料不使用の「自然農」を体験し、本来の野菜が持つ味、栄養やその価値を学ぶ。

【内容】

(1) 料理講習会

ア 開催日：令和7年8月30日、10月4日、12月6日
イ 場 所：弘前市総合学習センター2階調理実習室
ウ 参加者：家族を持ち、料理や健康に興味があるにも関わらず料理ができずに困っている人
エ 内 容：便利な調理器具を使うことで時短、簡単で、しかもおいしく、バランスの良いメニューが学べる料理講習会。

(2) 収穫体験

ア 開催日：令和7年9月13日、10月18日
イ 場 所：岩木山麓しらとり農園
ウ 参加者：幼児や小学生とその保護者
エ 内 容：野菜本来の味や食の安全、環境保護を感じてもらい収穫体験。

取組3 三八農林水産事務所

【実施団体】認定こども園すぎのこ保育園（八戸市）

「備える食」を親子で学ぶ実践型食育講座

講師：(株)フードコミュニケーション なぎさ なおこ氏

対象：すぎのこ保育園 園児親子

(1) 災害を「知って」「備える」体験型ワークショップ

・期 日：令和7年12月20日

・場 所：すぎのこ保育園

・内 容：親子でつくる！ローリングストック活用レシピ実習

(2) 伝統食材で栄養満点・青森防災ごはん講座

・期 日：令和8年2月7日

・場 所：すぎのこ保育園

・内 容：火を使わずに調理する工夫

青森伝統食材×災害対応レシピ

取組4 西北農林水産事務所

【委託先①】tugalu.waku 加藤 梨紗 氏

【目的】子どもたちやその親が地元食材に触れ、農林水産業に関心を持つ機会を提供する。

【内容】

(1) つがるの牛肉体験

開催日：令和7年7月26日

場 所：つがる市内牛舎（つがる市牛潟）、
繁田地区コミュニティーセンター（つがる市稲垣）

参加者：40人の親子

内 容：牛舎にて飼育環境の見学、飼育方法の学習、
火起こし・調理体験

(2) すいか収穫体験

開催日：令和7年8月16日

場 所：つがる市内農園（つがる市車力）

参加者：30人の親子

内 容：すいかの成長過程や食べ頃の目安などを学習、収穫体験

(3) シャインマスカット収穫体験

開催日：令和7年9月11日

場 所：つがる市内農園（つがる市稲垣）

参加者：57人の親子

内 容：シャインマスカットの栽培方法や選定の仕方などの
学習、収穫体験



(4) 米粉たこやき作り (収穫体験代替イベント)

開催日：令和7年9月23日

場 所：花岡農村改善センター (青森市浪岡)

参加者：80人の親子

内 容：米粉を使った親子でたこやき調理体験を含むイベント

(5) もちつき・チマキ作り (収穫体験代替イベント)

開催日：令和7年11月8日

場 所：繁田地区コミュニティーセンター (つがる市稲垣)

参加者：20人の親子

内 容：臼と杵を使った餅つき体験、昔ながらのチマキ作り



(6) 食にまつわる科学体験

開催日：令和7年12月24日

場 所：繁田地区コミュニティーセンター (つがる市稲垣)

参加者：38人の親子

内 容：三沢航空科学館講師を招いた液体窒素の実験見学、
ごぼう袋ロケットの工作体験



【委託先②】新深浦町漁業協同組合北金ヶ沢漁協女性部

【目的】 地元で水揚げされる水産物のさばき方や料理教室を実施することで地元の魚のおいしさと食べ方に触れる。魚食普及を図り、ふるさとへの誇りに思う心を育てる。

【内容】お魚料理教室の開催

開催日：令和7年7月10日、12月5日

場 所：深浦町立大戸瀬中学校

参加者：同校1、2、3年生の生徒

内 容：北金ヶ沢漁港で水揚げされた水産物のさばき方の学習、調理実習



取組5 上北地域県民局地域農林水産部

1 トミちゃんの食育（佐藤トミ氏、十和田市）

(1) 開催日：令和7年8月29日、11月20日、11月26日

(2) 場 所：吾郷会館、八郷会館、KiNu カフェ（十和田市）

(3) 参加者：3回、計38名

(4) 目 的：健康寿命の延長のため、高齢者に不足しがちなタンパク質や旬の食材を用いた食育講座を開催し、孤立しがちな高齢者同士が交流する場を設ける。

(5) 内 容：健康に関する講話、調理実習（おにぎりと豚汁）



調理実習の様子

2 山端一雄氏（十和田市）

(1) 開催日：令和7年7月28日、
10月2、4、11日、11月7日、
令和8年1月11日

(2) 場 所：山端一雄 farm、豊ヶ岡
保育所、十和田市東コミュニティ
センター

(3) 参加者：6回、延べ約110名

(4) 目 的：収穫体験により、子供たちが自然と大地の恵み、土づくりの素晴らしさを感じ、また、収穫した農産物を食することで、子供たちに地産地消の大切さを伝え、農業に興味を持ってもらう。

(5) 内 容：さつまいも・小麦の収穫体験、試食



さつまいもの収穫体験

3 エコレンジャーセブン（七戸町）

(1) 開催日：令和8年1月9日、1月18日

(2) 場 所：七戸町保健センター、十和田市東コミュニティ
センター

(3) 参加者：3回、計45名

(4) 目 的：郷土料理や地域の特徴を学び、味わうことで、地域の食文化を継承する機会とする。

(5) 内 容：引き継ぎたい郷土料理のアンケート調査、調理実習（すいとん等）、レシピカードの作成



たらの子あえと長芋すいとん

取組6 下北地域県民局地域農林水産部

地域における自発的かつ継続的な食育活動を推進するために、地域で食育に関する取組を精力的に行っている団体に業務委託した。

【開催日】①令和7年6月29日(日)、②7月27日(日)、
③8月31日(日)、④9月28日(日)、⑤12月27日(土)

【委託先】合同会社むつつのたね（むつつ市）

【取組目的】野菜の摂取量増加と食への関心向上

【内 容】・野菜の共同栽培（随時）
・農家による野菜栽培指導（4回）
・希望者による家庭でのプランター野菜栽培（随時）
・料理教室（4回）
・LINE グループでの野菜栽培の情報交換・指導（随時）

【場 所】・農業体験：須藤農園（むつ市）
 ・調理体験：field むっつのたね（むつ市）
 【参加者】①5人、②10人、③7人、④5人、⑤7人



講師の説明を聞く参加者



農作業の様子

取組7 食ブランド・流通推進課

1 一般社団法人あおもりウォーズ

【目的】青森の漁業とそれを取り巻く人々について学ぶことで、魚食を推進するとともに、「食」や農林水産業への関心を高め、自ら「食」を選択する力を身につける。

【内容】世代に応じて、青森県の漁業や魚についてのクイズやふれあい体験を実施する。



2 安田美央氏

【目的】発達に課題のある子供や大人と地域住民が、カレー作りやカレーソングのワークショップを通じて交流することで、食への関心を高めるとともに多様性への理解を促進する。

【内容】おいらせ町と鶴田町で計3回、テーマを変えてカレー作り交流会を実施し、カレーソングを制作する。



今後の取組方向

引き続き、地域での自発的かつ継続的な食育活動の実施により、地域における食育を推進する。

事業名	みんなが食育アクション事業																				
第4次食育推進計画の位置付け	取組1-(1)ア 基本方向1-2、3-1																				
	取組1-(1)イ 基本方向1-2、3-2																				
	取組1-(1)ウ 基本方向1-5、2-3、3-1、3-2																				
	取組1-(1)エ 基本方向1-5、2-1、2-3																				
	取組1-(2) 基本方向1-3、1-4、3-1																				
	取組1-(3) 配慮すべき事項1																				
	取組2 基本方向2-1																				
	取組3 基本方向1-5、2-3、3-1、3-3、 配慮すべき事項2																				
	取組4 基本方向1-2																				
趣 旨	県民が健全な食生活を生涯にわたって実践していくため、あらゆる世代で食育活動を展開するとともに、食育活動を担う指導者の育成を行う。																				
主な取組	取組1 県民のライフステージに対応した食育 (1) ライフステージごとの食育講座 ア 農業高校生等による園児対象の食農体験会 県内農業高校において、生徒が講師となり、園児を対象とした農作業体験及び調理・加工体験を実施。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施校</th> <th>対象</th> <th>第1回</th> <th>第2回</th> <th>第3回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立三本木農業恵拓高等学校</td> <td>小さな森こども園 (十和田市) 年長園児</td> <td>パン作り体験(9月12日) 14名参加</td> <td>りんご収穫体験 (10月17日) 13名参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県立名久井農業高等学校</td> <td>まほろば幼稚園 (八戸市) 年長園児・ 年中園児</td> <td>りんご・さつまいも収穫体験 (10月1日) 年長園児 21名参加</td> <td>さつまいも収穫体験 (10月14日) 年中園児 13名参加</td> <td>りんご・さつまいものお菓子作り体験 (11月12日) 年長園児 21名参加</td> </tr> <tr> <td>計2校</td> <td>計2園</td> <td colspan="3">計5回(82名)</td> </tr> </tbody> </table>	実施校	対象	第1回	第2回	第3回	県立三本木農業恵拓高等学校	小さな森こども園 (十和田市) 年長園児	パン作り体験(9月12日) 14名参加	りんご収穫体験 (10月17日) 13名参加		県立名久井農業高等学校	まほろば幼稚園 (八戸市) 年長園児・ 年中園児	りんご・さつまいも収穫体験 (10月1日) 年長園児 21名参加	さつまいも収穫体験 (10月14日) 年中園児 13名参加	りんご・さつまいものお菓子作り体験 (11月12日) 年長園児 21名参加	計2校	計2園	計5回(82名)		
	実施校	対象	第1回	第2回	第3回																
県立三本木農業恵拓高等学校	小さな森こども園 (十和田市) 年長園児	パン作り体験(9月12日) 14名参加	りんご収穫体験 (10月17日) 13名参加																		
県立名久井農業高等学校	まほろば幼稚園 (八戸市) 年長園児・ 年中園児	りんご・さつまいも収穫体験 (10月1日) 年長園児 21名参加	さつまいも収穫体験 (10月14日) 年中園児 13名参加	りんご・さつまいものお菓子作り体験 (11月12日) 年長園児 21名参加																	
計2校	計2園	計5回(82名)																			



パン作り（三本木農業恵拓高校）



さつまいも収穫（名久井農業高校）

イ 高校生対象の自炊塾

進学・就職等で一人暮らしをする可能性のある高校生の健全な食生活を支援するため、食材の活用や自炊方法について調理講座を開催。

	実施校(参加者)	開催日	内容	講師
1	青森県立三本木農業恵拓高等学校(3年生 30名)	10月28日	海苔巻き弁当	あおもり野菜ソムリエの会 会長 中村陵子氏
2	弘前学院聖愛高等学校(普通科 3年生 62名)	11月12日	旬の県産食材で自炊初心者向けごはん	野菜くだもの料理 教室主宰 小林潤子氏
3			郷土料理風ごはん	高谷裕子氏
4	青森県立田名部高等学校(定時制課程3年次 20名)	11月19日	地元の野菜で栄養バッチリ簡単おいしい自炊メニュー	ヒロッキングサロン主宰 野呂浩子氏
5	青森県立柏木農業高等学校(生活科学科 3年生 11名)	12月3日	季節の野菜を食べる	野菜くだもの料理 教室主宰 小林潤子氏
6	青森県立青森南高等学校(1～2年生 27名)	12月20日	野菜をしっかりとる鍋料理と手軽に作れる炊き込みごはん	あおもり野菜ソムリエの会 会長 中村陵子氏
	計6回 150名			

ウ 大人向け食農体験講座

家庭や地域での食育の実践を促すとともに、県産品を選ぶ意識を醸成するため、大人を対象に、農作業体験や県産食材を使用した調理実習等による食農体験講座を開催。

	開催日 (参加者)	開催地	内容	講師
1	8月24日 (9人)	鮎ヶ沢町	りんご収穫とメロンスイーツづくり	木村才樹氏(風丸農場)、傳法谷菜美保氏(古民家風丸)
2	9月15日 (9人)	野辺地町、七戸町	乳牛搾乳施設見学	阿見年典氏((有)金子ファーム)
3	9月23日 (7人)	平川市	シードル製造工程見学	水口清人氏(タグボート(株))
4	10月5日 (5人)	東通村	稲刈り体験	山崎孝悦氏(山崎農園)
5	10月26日 (5人)	外ヶ浜町	白ネギ収穫体験	小林忠幸氏(小林農園)
6	11月9日 (24人)	弘前市	津軽郷土料理調理体験	森山千恵子氏(津軽あかつきの会)
7	12月14日 (4人)	むつ市	べこもち作り体験	氣仙米子氏(りらくす mama)
8	12月21日 (19人)	青森市	洋風おせち調理講座	木村圭司郎氏(あおもり食命人)
9	1月25日 (25人)	八戸市	青い森紅サーモン調理講座	谷口圭介氏(八戸ニューシティホテル)
10	2月15日	風間浦村	鮫鱈吊るし切り見学と調理体験	木下清氏(風間浦漁協)
計 10 回				



りんご収穫体験



白ネギ収穫体験

エ 「共食の場」のニーズに応じた食育出前講座

「共食の場」（子ども食堂、高齢者サロン等）での食育活動を推進していくため、講師を派遣し、食育講座を実施。

	団体名	区分	開催日 (参加者)	テーマ	講師
1	すこやか チーム(弘 前市)	高	10月23日 (15名)	手軽に作れる 栄養バランス に優れた献立 (調理講座)	弘前市食生活 改善推進員会 会長 斎藤明 子氏
2	泉川こど もひろば (青森市)	子	11月1日 (3名)	伝統料理と子 どもたちに受 け継いでいき たい食文化 (調理講座)	弘前市食生活 改善推進員会 会長 斎藤明 子氏
3	子育て応 援団体サ ラダくら ぶ (新郷村)	子	11月30日 (27名)	新郷村の特産 品を使った秋 のほっこりメ ニュー (調理講座)	あおもり野菜 ソムリエの会 会長 中村陵 子氏
4	弘前暮ら しの保健 室 (弘前市)	高	12月20日 (13名)	低コストで簡 単に作れる栄 養バランスの 取れた献立 (調理講座)	弘前市食生活 改善推進員会 会長 斎藤明 子氏
5	木内々有 楽町地区 ほのぼの 協力愛(お いらせ町)	高	1月20日 (12人)	歳とともに高 タンパク質と 野菜たっぷりの 食卓で! (調理講座)	料理研究家、 管理栄養士 福土るみ子氏
6	ボランテ ィアむつ の会(むつ 市)	高	2月15日	高齢者の健康 維持のための 食事 (講話)	管理栄養士 白山八千代氏
計6回 ※高:高齢者サロン 子:子ども食堂					

(2) 「野菜＋果物」摂取啓発

産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選択する意識付けと、野菜と果物の摂取量向上を図るため、広報等による啓発を実施。

ア 県広報での野菜・果物摂取啓発

- ・ATV「土曜のお昼、d-iZe とご一緒しませんか」(9/27 放送)
- ・RAB ラジオ「県広報タイム」(9月第二週放送)
- ・LINE(9月第二週配信)

イ 農林水産部公式 YouTube「あおもの！」におけるショート動画配信(9/25 配信)

ウ 「青森県産品愛用応援キャンペーン」オープニングイベントにおける啓発資材配布(9/6 実施)

エ 青森県消費者大会の出展ブースにおいて、ポスター掲示及び啓発資材配布(10/24 実施)

(3) YouTube 等のウェブ活用による情報拡散

食育に関する理解を深め、実践に向けた意識啓発につなげるため、食育動画のチラシ配布等により広く周知。

取組2 食育指導者の育成

(1) 食育サポータースキルアップ講座＋サポーター交流会

食育サポーターを対象に、多様なニーズに合わせた食育活動を実践するための技術力と知識を深めるとともに、サポーター同士の交流により地域での食育活動を促進するための講座を開催。

	開催日 (参加者)	テーマ・講師
1	12月25日 (14名)	・講義「未来のための栄養改革」 講師：(株)明治
2	1月14日 (6名)	・工場見学「安全・安心で高品質な冷凍・常温食品を学ぶ」 講師：(株)ハチカン
3	1月16日 (3名)	・加工体験「下北産『アピオス』の出荷・加工体験」 講師：(同)むつつのたね
4	1月19日 (4名)	・調理体験「必見！郷土料理の現代風アレンジ」 講師：(同)津軽の暮らしラボ
5	1月22日 (4名)	・工場見学「とことん県産食材『スタミナ源たれ』を学ぶ」 講師：上北農産加工(株)
6	1月28日 (4名)	・店舗見学「スーパーの最前線と裏側を探る」 講師：紅屋商事(株)
計6回	35名	



スキルアップ講座の様子

(2) 食育指導者向け「野菜＋果物」研修会

食育指導者を対象に、県民の野菜と果物の摂取量増加に向けた取組を実施する場合の知識や調理技術を習得するための研修会を開催予定。(食育指導者対象研修会と併催)

【開催時期】 令和8年2月25日(水)

【場 所】 リンクモア平安閣市民ホール

【内 容(予定)】

- 1 講演「地域の心と身体を育てる『食』の力～日常の“食”から考える健康づくりと防災・減災～」
(株)フードコミュニケーション なぎさなおこ氏
- 2 講演「野菜・果物食べてますか?～野菜・果物の魅力について考えてみましょう～」
あおもり野菜ソムリエの会 中村陵子氏

今後の取組方向

引き続き、県民が健全な食生活を生涯にわたって実践できるよう、関係部局・関係団体等との連携・協力により、食育の取組を推進していく。

事業名	「食」を通じた「こどもまんなか」事業				
第4次食育推進計画の位置付け	取組1-(1) 基本方向1-2、3-1、3-2				
	取組1-(2) 基本方向1-2、3-1、配慮すべき事項1				
	取組2 基本方向1-2				
	取組3 基本方向1-5、2-3				
趣旨	こどもが地域食材への理解と愛着を深め、自らの食を選ぶ力を高めるため、こどもの「食」に視点をあて、食農体験や学校給食での県産食材提供に加え、夏・冬休み期間中の共食の場における昼食を支援する。				
主な取組	取組1 産地・生産者への理解と交流促進				
	(1) 小中学生対象の食育講座				
	小中学生が県産食材や農林水産業への理解を深め、食べ物に感謝する心を育むとともに、自ら「食」を選ぶ力を養うため、農林漁業体験や地元食材を活用した調理講座などの食農体験講座を実施。				
		実施校	開催日 (参加者)	内容	講師
	1	弘前大学 附属小学校	8月25日 (5年生69名)	農業体験(ト マト収穫)	小堀農園 小堀将太郎氏
	2		9月2日 (5年生69名)	調理講座(ラ タトゥイユ)	あおもり食命人 古川恵美子氏
	3	八戸市立 明治中学校	9月1日 (1年生10名)	調理講座(ほ たて・いか捌 き)	八戸ニューシテ ィホテル 谷口圭介氏
	4	八戸市立 江南小学校	9月3日 (6年生18名)	農業体験(じ ゃがいも収 穫)	Ryosuke Oyasai 加納良介氏
	5	五所川原 市立金木 小学校	9月17日 (5年生33名)	漁業体験(し じみ採り)	十三漁業協同組 合
	6	八戸市立 是川中 学校	10月1日 (2年生20名)	調理講座(地 元野菜のス ープ他)	あおもり食命人 須田忠幸氏
7	十和田市 立西小 学校	10月24日 (5年生20名)	調理講座(毬 姫牛とぼけし らずネギの八 幡巻き他)	あおもり食命人 玉川幸広氏	
8		11月10日 (5年生17名)	畜産体験(畜 産飼料施設・	東北グレーンタ ーミナル、イチ	

			牛舎見学)	カワファーム
9	東北町立 東北小学校	10月30日 (5年生39名)	農業体験(ご ぼう収穫)	小笠原佳大氏
10		11月26日 (5年生39名)	調理講座(ご ぼうの八幡巻 き)	あおもり食命人 小林健一氏
11	藤崎町立 藤崎中学校	11月12日 (2年生72名)	調理講座(け の汁他)	あおもり食命人 西館三津子氏他
12	八戸市立 北陵中学校	11月13日、 18日 (2年生65名)	調理講座(地 元産かぼちゃ のポタージュ 他)	あおもり食命人 須田忠幸氏
計9校 12回 471名				



食育講座の様子

(2) 学校給食を活用した県産食材のPR・啓発

県産食材を数多く使用した学校給食が提供される11月の「ふるさと産品給食の日」(青森県学校栄養士協議会主催)に合わせて、学校給食で使用頻度の高い県産食材が学校給食へ提供されるまでの行程を紹介し、二次元コードの読み取りで一部作業を360度動画で疑似体験できる冊子を作成し配付。

【対象】 小学校高学年(5～6年生)

【配布先】 県内全ての小学校(特別支援学校を含む)

【食材】 米・りんご・牛乳



360度動画サムネイル



冊子「給食の大ぼうけん」

取組2 学校給食で県産食材を一品プラスする取組への支援

地元食材の活用に取り組む市町村に対し、他市町村が提案する地元産品を一品プラスして提供するために必要な費用を支援。

【補助対象先】市町村

【補助率】定額（1人あたり250円上限）

【実施予定数】15市町村

(参考) 令和7年度に使用した県産食材

No.	県産食材	提供した市町村
1	毬姫牛（八戸市）	五所川原市・藤崎町・外ヶ浜町・階上町 板柳町・新郷村・田舎館村・中泊町
2	蒸しベビーホタテ（陸奥湾産）	鶴田町・藤崎町・板柳町・八戸市
3	奥入瀬のむヨーグルト（十和田市）	鶴田町・弘前市・西目屋村
4	倉石牛コロッケ（五戸町）	板柳町・八戸市
5	つがる豚（つがる市）	弘前市・西目屋村
6	飲むヨーグルト（新郷村）	南部町・深浦町
7	豚ロース雪人参醤油仕立て（深浦町）	平川市・田舎館村
8	雪にんじん蒸しパン（深浦町）	八戸市・中泊町
9	ほたて貝柱水煮（陸奥湾産）	八戸市
10	まいたけ（外ヶ浜町）	板柳町
11	冷凍嶽きみホール（弘前市）	板柳町
12	冷凍嶽きみペースト（弘前市）	中泊町
13	青森シャモロック（五戸町）	平川市
14	スチューベン（鶴田町）	新郷村
15	青森アップルポークの角煮（七戸町）	五所川原市
16	冷凍かぼちゃダイスカット（十和田市・上北地区）	板柳町



青森シャモロックを使用したせんべい汁
(平川市学校給食)



栄養教諭による
青森シャモロックの講話

取組3 夏・冬休み期間の昼食への支援

学校給食が無い夏・冬休み期間のこどもの食育推進と子育て世帯の家事負担軽減を図るため、こども食堂や児童会等を支援し、小中学生に県産食材を使用したバランスの良い昼食を提供する取組を実施。

【実施団体】 33団体

【昼食提供回数】 76回 (※)

【昼食提供人数】 延べ1,696人 (※)

(※) R8.1月末現在、冬休み実施分は実績報告取りまとめ中のため、夏休み実施分のみ記載。









昼食提供の様子

今後の取組方向

引き続き、農林漁業体験や学校給食を通じて、県産食材や農林水産業に関わる人への理解と地域への愛着心が向上するよう、関係団体等と連携しながら取組を推進していく。

事業名	学校給食あおり産品供給・利用拡大事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	学校給食における県産食材の利用拡大に向けて、栄養教諭や学校栄養職員等を対象とする研修やメニュー提案、県産加工品のPRを行った。
主な取組	<p>1 地元産品活用促進セミナー 栄養教諭や学校栄養職員等を対象に、地元の野菜に対する理解を深めてもらうため、農業生産現場を見学する現地研修会を開催 【実施日】令和7年8月18日 【場 所】むつ市田名部、むつ市大畑町 【参加者】栄養教諭等7名</p> <p>2 県産食材を使用した加工品のPR 青森県学校栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会において、県産農林水産物を使用した学校給食向け加工品のPRを実施 【実施日】令和7年12月25日 【場 所】青森県総合社会教育センター 【参加者】栄養教諭等 約80名 【加工品】情報提供11商品（このうち4商品試食）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="544 1218 943 1514" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="970 1218 1382 1514" data-label="Image"> </div> </div> <p style="text-align: center;">むつ市内のいちご生産者 試食品（4品）</p>
今後の取組方向	関係団体と連携しながら、学校給食における県産食材の利用率向上に向けた取組を継続する。




事業名	「だし活」を活用した地産地消推進事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-1、1-3、1-4
趣旨	県産素材の活用と減塩総菜等を開発するとともに、企業等と連携して「だし活+だす活」を周知し、地産地消の推進と減塩の意識啓発に取り組んだ。
主な取組	<p>県民への「だし活+だす活」と地産地消のPR</p> <p>(1) 出前トーク等でのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・学校・団体等でのPR 4回 ・メディアを通じてのPR 3回 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 包括連携協定締結企業とのPR 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本郵便(株)東北支社(「だし活+だす活」×年賀状作成教室) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) 青森県だし活協議会と連携したPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー店頭、イベント出店により、県産素材を使用しただし商品「できるだし」とともに「だし活+だす活」をPR 15回 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
今後の取組方向	県産食材の活用と併せて手軽においしく食することができる減塩総菜等の開発を促進するとともに、企業等と連携して「だし活+だす活」を周知し、地産地消の推進と減塩の意識啓発に向けた取組を継続する。

4 畜産課

事業名	持続可能な酪農経営基盤強化対策事業			
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-1			
趣旨	本県酪農・肉用牛の経営基盤の継承を支援するため、将来の畜産人財に対し、畜産現場を理解し体験する機会を提供する。			
主な取組	県内の小中学生及び高校生に対し、畜産施設や畜産農場等で現場見学研修を実施した。			
	日付	研修名	場所	参加人数
	6/10	家畜審査研修会	地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所	三本木農業恵拓高校8名、五所川原農林高校7名、柏木農業高校6名/計21名
	7/10	第1回畜産施設見学研修(委託)	食鳥処理・鶏肉加工施設(プライフーズ(株)細谷工場)	三本木農業恵拓高校23名、青森県営農大学校2名/計25名
	7/30	畜産施設見学バスツアー	酪農施設(株)NAMIKI デーリィファーム、手作りジェラート NAMIKI)	弘前南高校2名、青森高校1名、青森中央高校2名、青森南高校4名、青森北高校1名、八戸高校1名、八戸工業大学第二高校3名/計14名
	10/7	第2回畜産施設見学研修(委託)	三沢第三中学校(養鶏施設(プライフーズ(株))の出前授業)	三沢市立三沢第三中学校13名
10.24-26	全国ホルスタイン共進会见学研修バスツアー	北海道ホルスタイン農協、八雲町育成牧場展望台、新千歳空港	三本木農業恵拓高校10名	

	11/10	第3回畜産施設見 学研修(委託)	飼料施設(東北グリーン ターミナル(株))	十和田市立西小学校 20名
	11/10	第4回畜産施設見 学研修(委託)	肉用牛施設(㈱イチ カワファーム)	十和田市立西小学校 20名
	11/11	第5回畜産施設見 学研修(委託)	肉用牛施設(㈱イチ カワファーム)	八戸市立多賀小学校 5 年生 11名
	11/11	第6回畜産施設見 学研修(委託)	と畜・加工施設(IHミー トパッカー(株))	三本木農業恵拓高校 23名
	11/20	第7回畜産施設見 学研修(委託)	酪農施設(㈱NAMIKI デー リィファーム、手作りジ ェラート NAMIKI)	三本木農業恵拓高校 20名
	11/20	第8回畜産施設見 学研修(委託)	飼料施設(東北グリーン ターミナル(株))	三本木農業恵拓高校 20名
				
	家畜審査研修会の様子		全日本ホルスタイン共進会北海道大会 見学研修バスツアーの様子	
今後の取組方向	次年度も同様の取組を継続し、畜産業への理解醸成を図り、畜産業への就労を促進する。			

5 農村整備課

事業名	中山間地域ふるさと活性化事業（H5～）
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-1
趣旨	中山間地域における農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図ることを目的とした、地域住民活動を推進する人財の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の活動に対して支援等を行った。
主な取組	<p>1 ほ場整備事業により地域の水田が集約されたのを契機に、近隣小学校に学校田を提供し、農業体験学習及び動植物観察調査等の活動を行っている団体を支援した。</p> <p>2 取組事例</p> <p>(1) 実施主体 北三沢土地改良区</p> <p>(2) 開催時期 令和7年5月26日、7月7日、9月22日</p> <p>(3) 場所 三沢市 北三沢地区ほ場</p> <p>(4) 対象者 三沢市立おおぞら小学校 全生徒</p> <p>(5) 参加人数 191名</p> <p>(6) 内容等</p> <p>ア 田植え・稲刈り体験学習</p> <p>イ 水質調査体験学習</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>
今後の取組方向	中山間地域の活性化を図るため、次年度も同様の取組を継続し、地域住民活動等を推進・支援する。



6 スポーツ健康課



事業名	学校給食レシピコンテスト
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	地場産物を活用した食育を推進するとともに、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単に調理でき、学校給食でも提供できる、児童生徒のアイデアを活かした料理レシピのコンテストを行う。
主な取組	<p>募集期間 令和7年5月～9月</p> <p>対象者 小学校、中学校及び特別支援学校の児童生徒</p> <p>応募数 小学校の部 10校 145点 中学校の部 13校 521点 特別支援学校の部 3校 4点</p> <p>県教育委員会、公益財団法人青森県学校給食会をはじめとする主催者等において書類審査及び試食審査を実施し、最優秀賞及び優秀賞を決定。入賞レシピを県教育委員会及び公益財団法人青森県学校給食会ホームページに掲載し、学校給食等への活用を啓発している。また、各協賛団体より県産食材を副賞として入賞者へ贈呈した。</p>
今後の取組方向	引き続き、地域の小学校・中学校・特別支援学校、家庭や地域社会が一体となり、児童生徒が郷土の食文化への理解を深められるような取組の推進を図る。



事業名	体育・食育の楽しさアップ研修会
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	本県のこどもたちの健康課題解決のために、小学校中学年担任等を対象に、小学校学習指導要領に則った「楽しい体育」の実現と「食に関する指導」の具体的な授業構成及び指導方法について体験的に研修を行い、小学校教職員の資質向上を図る。
主な取組	<p>【講義】</p> <p>講義 小学校中学年における楽しい食育の指導</p> <p>講師 武庫川女子大学 藤本 勇二 氏</p> <p>開催日 令和7年9月1日(月)</p> <p>対象者 東青、西北、中南地区の小学校高学年担任等</p> <p>参加人数 小学校教諭等129名、栄養教諭等6名</p>
今後の取組方向	令和8年度は、三八、上北、下北地区の小学校高学年担任(1名悉皆)及び栄養教諭等(希望者)を対象に研修会を実施予定。

事業名	生活習慣病予防プログラムの作成
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-2
趣旨	本県の児童生徒の健康課題等を踏まえ、生活習慣病予防のために、小学校・中学校・高等学校の各段階で活用できる生活習慣病予防指導用の指導案及び教材等となる教育プログラムを作成する。
主な取組	<p>プログラムは、令和5年度に小学生用、令和6年度に中学生用、令和7年度に高校生用を作成することとし、作成に当たっては検討委員会を立ち上げて検討を行う。</p> <p>○小学生用生活習慣病予防プログラム</p> <p>プログラムの普及（・完成した冊子を県内の小学校に配布・生活習慣病予防プログラムのホームページを作成・各郡市学校保健会の会議等において周知を依頼）</p> <p>※令和5年度に作成、令和6年度に検証・見直しを実施</p> <p>○中学生用生活習慣病予防プログラム</p> <p>プログラムの検証（・指導後の成果と課題等を検証し、検討会議においてプログラムの修正を実施）</p> <p>※令和6年度に作成</p> <p>○高校生用生活習慣病予防プログラム</p> <p>プログラム検討委員会を設置し、プログラムを作成</p>
今後の取組方向	小学校用及び中学校用プログラムにおいては、学校でプログラムが活用されるよう普及していく。また、高校用プログラムにおいては、令和7年度に作成したプログラムの検証を行う予定である。

7 下北農林水産事務所

事業名	「しもきたピザ」づくり体験
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向1-5、基本方向3-1
趣 旨	下北産の食材を使用したピザづくりをとおして、地元食材への理解を深める。
主 な 取 組	<p>【開催日】令和7年7月13日（日）</p> <p>【場 所】ミルク工房「ボン・サーブ」前広場（むつ市）</p> <p>【内 容】地域活性化と地産地消を推進する「しもきたマルシェの会」と連携し、食イベント「しもきたマルシェ」会場で、地場産トマトとズッキーニ等を使ったピザづくり体験を行った。</p> <p>50組の来場者が、農業者・出店者との会話を楽しみながらピザづくりに挑戦し、地元食材への理解を深めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>家族で協力してピザづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>盛り付けは自由自在</p> </div> </div>
今後の取組方向	今後も「しもきたマルシェの会」と連携し、地元食材への理解を深めることができる体験の場を提供する。

事業名	<p>令和7年度「地区農業士会活動推進事業」 (青森県農業経営士会が、各地区農業士会等に対し、各種研修会等を開催する経費を補助)</p>
第4次食育推進計画の位置付け	<p>基本方向1-5、基本方向3-1</p>
趣旨	<p>下北産の食材を使用した「そばガレット」を試食提供し、生産者と消費者との交流と地産地消を推進した。</p>
主な取組	<p>【開催日】令和7年10月19日(日) 【場 所】東通村大利地区ふるさと伝承館 【参加者】むつ下北地区指導農業士会員(3人)、「ひがしどおり新そば街道まつり」来場者 【内 容】「ひがしどおり新そば街道まつり」において、東通村産のそば粉や下北産トマトなどを使用した「そばガレット」を試食として提供した。また、試食アンケートも実施し、感想・意見を取りまとめた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ガレットの調理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>試食アンケートの実施</p> </div> </div>
今後の取組方向	<p>今後も、地域食材を活用した消費者交流と地産地消を推進する。 また、試食アンケートの結果を参考とした新たな加工品づくりを支援する。</p>

事業名	農山漁村女性の経営参画推進普及事業
第4次食育推進計画の位置付け	基本方向3-2
趣 旨	下北管内のVIC・ウーマンを対象に、ブルーベリーや発酵食品等に係る研修を実施し、地元特産品や和食文化について理解を深める。
主な取組	<p>【開催日①】令和7年7月22日（火）</p> <p>【場 所①】東通村農産物加工センター及び奥島農園（東通村）</p> <p>【参加者①】下北管内VIC・ウーマン等9人</p> <p>【内 容①】東通村の特産であるブルーベリーの収穫体験と、これを使った葛アイスづくり体験をとおして、地元特産品への理解を深めるとともに、食育活動に活用できる加工技術を習得した。</p> <p>【開催日②】令和7年10月29日（水）</p> <p>【場 所②】東通村農産物加工センター</p> <p>【参加者②】下北管内VIC・ウーマン等14人</p> <p>【内 容②】上北農産加工株式会社から講師を招き、下北産コンブを使っためんつゆづくりをとおして、発酵の仕組みと和食文化の伝承の必要性について理解を深めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ブルーベリー収穫体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>発酵調味料について学ぶ</p> </div> </div>
今後の取組方向	農山漁村女性に取り組む食に関する地域活動について、今後も継続して支援していく。